

WS  
6

## 油絵を描く一技法を基本から学ぶ

※実技が中心。第1回前半のみ講義

【定員】25名 【受講料】2年・1年会員・聴講生ともに 28,310円（静物画モチーフ、人物画モデル代として4,000円を含みます。）

『美術』【ワークショップ】芸術 【時間】 毎回17時00分～19時30分（計10回）

## 概要

初心者から経験者も含めて絵の具や溶き油など絵画材料について理解しながら、1回ごとの描画プロセスを積み重ねて描き進めていきます。  
自らの感覚をとおして観察し描いていくことで、創造の楽しさを発見します。

回	月/日(曜)	会場	学習内容		講師名(敬称略)
1	10/4(水)	川崎市 生涯学習 プラザ	静物	パワーポイント講義 絵画材料と用具について及び描画プロセスの説明 1 木炭での下素描。単色の土性絵具による明暗対比表現で描き始める。(キアロスクーロ)	NHK文化センター講師 佐藤 道子
2	10/11(水)			2 固有色を観察し下地色を塗る。明部と暗部の大きな構成でとらえる。	
3	10/18(水)			3 全体の調和を見ながら、積極的に絵具を重ね対象に迫る。	
4	10/25(水)		人物・ 着衣	1 木炭での下素描。イエローオーカーなどの土性絵具による明暗対比表現。(キアロスクーロ)	
5	11/1(水)			2 明部を白色系絵具で下塗りする。暗色の分布に注目して、立体感や空間感を表現する。	
6	11/8(水)			3 感じた色彩を伸び伸びした筆致で塗る。最後まで大きな見方で描き進める。	
7	11/22(水)		人物・ 裸婦	1 木炭での下素描。イエローオーカーなどの土性絵具による明暗対比表現。(キアロスクーロ)	
8	11/29(水)			2 明部を白色系絵具で下塗りする。人体の動きや肌の質感を観察して絵具を塗り重ねる。	
9	12/6(水)			3 観察した固有色を積極的にキャンバスにのせ、自分の受けた印象を表現してみる。	
10	12/13(水)		講評会	これまで描いた作品についての受講生のスピーチと、講師の講評	

連絡  
事項

第1回から実技を行います。必要な持ち物は、受講決定通知内でご案内いたします。